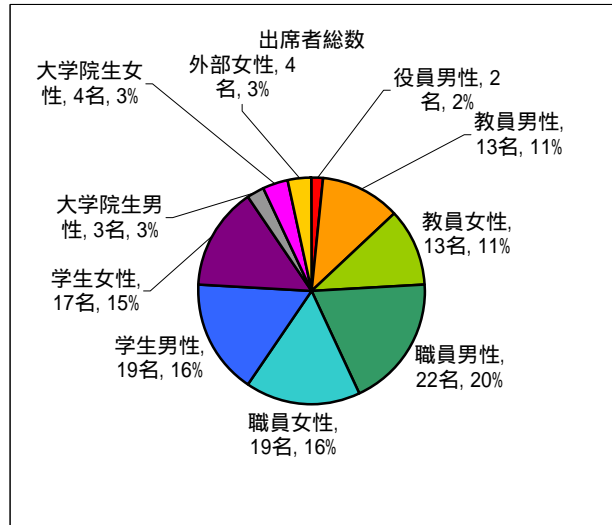


埼玉大学男女共同参画室開室記念講演会アンケート集計結果

1. 講演会出席者

区分	総数	男性	女性
役員	2名	2名	0名
教員	26名	13名	13名
職員	41名	22名	19名
学生	36名	19名	17名
大学院生	7名	3名	4名
外部	4名	0名	4名
計	116名	59名	57名



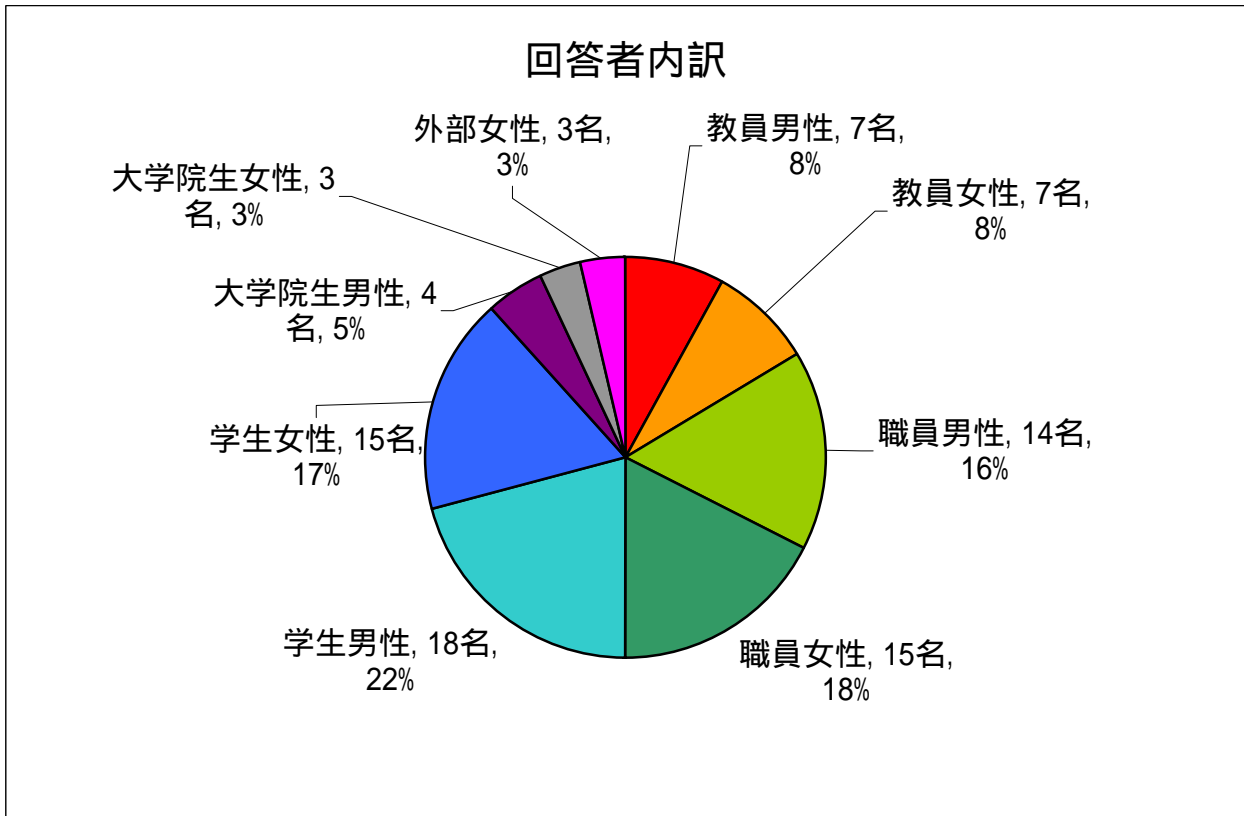
2. 回答率

区分	関係者除く	アンケート回答者	回答率( / )
教員	18名	14名	(77.78%)
職員	35名	29名	(82.86%)
学生	36名	33名	(91.67%)
大学院生	7名	7名	(100.00%)
外部	4名	3名	(75.00%)
計	100名	86名	(86.00%)

関係者…学長、理事、男女共同参画室員、総務部長、人事課長、人事課教職員係職員、総務課広報係職員

3. 回答者内訳

区分	男	女	計
教員	7名	7名	14名
職員	14名	15名	29名
学生	18名	15名	33名
大学院生	4名	3名	7名
外部	0名	3名	3名
計	43名	43名	86名



4. 回答者所属

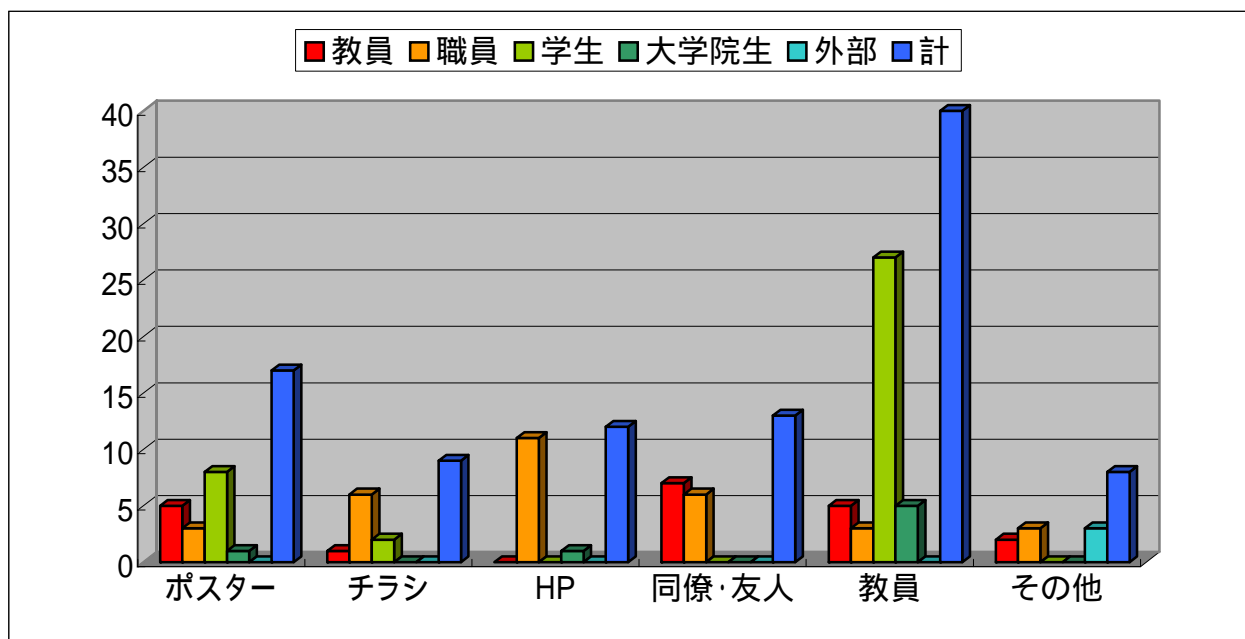
区分	所属	男	女	計
教員	教育学部	0名	3名	3名
	経済学部	5名	2名	7名
	理工学研究科	2名	1名	3名
	不明	0名	1名	1名
	小計	7名	7名	14名
職員	総務部	3名	3名	6名
	研究協力部	3名	2名	5名
	財務部	1名	0名	1名
	学務部	6名	6名	12名
	不明	1名	4名	5名
	小計	14名	15名	29名
学生	教育学部	9名	3名	12名
	経済学部	9名	12名	21名
	小計	18名	15名	33名
大学院生	文化科学研究科	0名	1名	1名
	教育学研究科	3名	1名	4名
	経済学研究科	1名	0名	1名
	不明	0名	1名	1名
	小計	4名	3名	7名
外部	WithYouさいたま	0名	2名	2名
	パートナーシップさいたま	0名	1名	1名
	小計	0名	3名	3名
	合計	43名	43名	86名

5. 回答内訳

本日の講演会については、何でお知りになりましたか。

1. ポスター      2. チラシ      3. HP      4. 同僚・友人からの情報  
5. 教員からの宣伝      6. その他

区分	ポスター	チラシ	HP	同僚・友人	教員	その他	その他内訳
教員	5名	1名	0名	7名	5名	2名	参画室員
職員	3名	6名	11名	6名	3名	3名	学内通知、会議報告
学生	8名	2名	0名	0名	27名	0名	
大学院生	1名	0名	1名	0名	5名	0名	
外部	0名	0名	0名	0名	0名	3名	大学からの案内
計	17名	9名	12名	13名	40名	8名	



本日の講演会についての感想をお願いします。

#### 教員男性

男児共同参画の現状と課題につき、よく知ることができました。
拳手が間に合わず発言できませんでした。またの機会に質問に伺いますので教えてください。女性の社会参画は男性の社会参画にとっても良いことだと思っています。頑張りましょう。
草の根からの取り組みについての説明が欲しかったです。
女性参画については外国と比較して差がある原因は？大学のブランド力を考えて、保育園経営で大学として大きな利益をあげられるのでは？
男女共同「過労死」参画社会にしないように、労働環境全般の改善が必要だと思います。この点で会議を夜やらないという話は良い事例だと思います。
勉強になりました。

#### 教員女性

会議が重なって全てを聞くことができませんでした。残念です。(講演の内容をHPなどにUPしてください)講師の大沢先生の話は歯切れが良く非常に明確で勉強になります。
短い時間の中で男女共同参画に対する日本の政治的・制度的な取り組みについて分かりやすくお話をいただきました。子供の貧困・格差・教育の問題にもふれていただきよかったです。
貴重な情報も伺えたと思いますが、具体的にどのように進むべきか議論できる時間がもう少しあってもよかったですと思います。
分かりやすい話でした。また第1回にふさわしい講演会のように感じました。可能であれば、東大の具体的な取組の話は、より詳しく聞きたかったと思います。国際トレンド、日本社会の特徴は重要で興味深い話ではあるものの、他でも聞く機会があるのに対して東大の個別の話はなかなか機会がないかと思います。
初めてのテーマでした。東大での実践に非常に刺激を受けるとともに、日本経済の状況からも男女共同参画型の社会づくりの必要性を知ることができました。又、教職員の姿勢が何よりも必要と感じました。ありがとうございました。
素晴らしかったです。基本的な考え方から東大での具体的対策までよく分かりました。

#### 職員男性

男女共同参画が女性の社会参加を第一にし、対等であることの必要性が弱いかなと思えた。
日本経済の現状がよくわかりました。と同時に政府の今までの取り組みが理解できた。
生涯学習をすること、男女関係なく子供への教育の参加が重要だと思った。
大変参考になった。貴重なお話を有り難うございました。
男女共同参画の背景と推進の内容について、わかりやすい説明でありました。
男女共同参画が何故大切なのかよく理解できました。
男女共同参画に係るこれまでの過程から現状の課題まで具体的な事例を挙げて説明していただき、非常に分かりやすく参考になりました。また、説明の仕方、スピード等も調度良く、聴きやすいお話でした。
貧困と男女共同参画の関係が無意識の差別という観点で示された点が新たな発見となった。今後は心しておきたい。
講師の説明が分かりやすく、本学においても積極的に改善をはかり女性の参画を加速させる必要があることを再認識した。

#### 職員女性

思っていたよりよかった。内容も濃かったし聞きやすかった。学長も言っていましたようにテレビ・新聞だけでは知らない日本経済や社会構造について知ることが出来て本当に良かった。アップデートする場になり有意義な1時間でした。
大変興味深く聞かせていただきました。自分の歩んできた道を振り返りながら聞かせていただきました。ありがとうございました。
民間にはどの程度、浸透しているのでしょうか？
教育の底上げの必要性が子供の貧困に結びつくとは考えなかった。学校教育は、従来上位層のレベルアップばかりに力を入れているように思う。本当に必要なのは、下位層の学力アップだと私も感じていたが、理論的に話していただいて勉強になった。
これから、女性が社会進出するための課題や子供たちのためにしていかななくてはならないことなど、改めて考えさせていただける時間となりました。ありがとうございました。
「生涯学習」についてのお話が非常に興味深かったです。自分を絶えずアップデートしていく力が大切との事ですが、それを持っている日本人は果たしてどれくらいいるのかを思いました。生涯学習支援に対して大学の果たす役割はとても大きいと思うので、これから働いていく上で、意識的に行動していきたいです。男女共同参画についてのことと、生涯学習について、今まで関連づけて考えたことがなかったのですが、考えてみればお互い大きく影響しあっているなと思いました。

諸課題についてよくわかりました。日々、私は何を意識して仕事をしていけばいいのか…そんな事を思いました。また、開催されれば参加します。  
話し方にめりはりがあり、分かりやすかったです。  
貴重なお話をありがとうございました。保育園が7つもあると聞き、驚きました。埼玉でも色々な動きが進んでいくといいなと思います。  
歴史的な観点や政治的な観点からのお話も聞いて興味深かった。  
分かりやすいお話でした。お話を聞いて参加していた職員(男性正職員)が変化できるかにかかっていると思います。経過を見守っていきます。現在の制度(就業規則を含む)を一度、今日のお話  
に照らして見直してみることも大切だと思います。見直そうという気持ちがあるかどうか…？

## 学生男性

男女共同参画社会はよく叫ばれるが、そこから実現させるのが難しいのは感じる。埼玉に保育所ができる際は、数人の教授が直訴したから実現した。みんながそのように立ち上げられる環境が必要だ。  
日本女性の社会参画が低い事は以前からも知っていたのだが、今日の講演で詳細なデータに基づく解説を受け理解が深まったと思う。また、就学前教育についてのお話は非常に興味深かった。私は6歳まで(小学校に上がるまで)保育施設に通うこともなく、両親が共働きだったので祖父母に預けられることが多かった。すると、小学校に入った時点ですでに周囲の子供と学習達成度の差があった。就学前教育におけるウェイトは大きいと思う。  
経済・政治動向から男女共同参画についてまとめていただいたので、問題のとらえどころがよく分かった。  
日本経済の話から女性の社会進出の重要性、またそこから大学の重要性を改めて認識しました。今、私がいる場所と時間を大切にしていきたいと思いました。育児休業を取ることで労働意欲を失ってしまうというお話は驚きました。  
日本において男女共同参画が促進されていないことは、メディアや授業を通して知ってはいたが、今回講演の中で実態・数値を出してもらい、実情に驚いた。  
現在の社会における男女平等参画の現状や政策の変遷についてポイントを押さえた説明であり、分かりやすかった。「共稼ぎであっても貧困」というデータ分析にも驚きを覚えた。女性の賃金が低いことも重大な問題であるが、男女の関係なく労働とは適切な賃金を支払い、失業した際には生活保護や失業給付を適切に利用できるようにするなど、社会保障を充実させていかなければ「男女共同参画」は絵に描いた餅になってしまうのではないかと思った。  
大学で男女共同参画について話を聞く機会が与えられたのは良かったです。  
大学の教授は比較的時間に自由がきくのかと思っていましたが、実際には、育児所への要望がそんなにもあるのだということを知りました。  
日本が外国に比べて状況が悪いことにショックでした。  
女性の支援の充実とともに、男性の育児休暇取得等の支援も同時にすると、改善していくと感じた。  
現在の自分の知識が非常に浅いものであると痛感した。今の考えをより深め、又、改めていく上でとてもためになる話を拝聴できたと思う。現状をみるだけでなく、今に至るまでにどのような流れでこうなっているのかを理解しなくてはいけないと感じた。  
講演会を聞いて、男女共同参画を推進することは難しいことだと改めて感じました。  
大筋の男女共同参画の推移を見ることができ、良かったと思う。埼玉大学の今後の取り組みにも注目したいと思った。  
これまでの男女共同参画の歩みが紹介されていて、また、現在の東大での取り組みが分かったりとてもまとまった内容の講義でした。  
大沢先生の話は学生にもとても分かりやすく、特に税と社会保障と子供の貧困率との関係に興味を持ちました。個人的に少し質問した時に、子ども手当の所得制限についても子ども自体に収入がなく平等であるという言葉にも納得できました。  
Ability to learnが就学前に培われるとのことですが、そこを逃したら挽回は難しいのでしょうか？私はそうは思いません。意志あるところに道は開けると信じます。それが生涯学習であり成人継続教育の意義です。良識ある市民を一人でも多く送り出すことが大学の社会的使命だと思います。市民社会と手を携えて大学が進んでいくことを期待します。  
女性の活躍が今後期待されます。それにも拘わらず、現在の教育制度・現状の中で小さなことでも問題が見受けられます。多くの人の考えを構成することが可能な学校という施設内での改善が大変必要で大変価値のあるものだ改めて認識することができました。  
埼玉大学はこれからスタートを切るとのことですが、地方大学として埼玉の先端の大学として遅いのではないかと思います。保育所を作るのに、署名を集めなくてはならないのでしょうか？(必ずあるべきで…学長のレベルが問われます！)

## 学生女性

大変興味深い話が聞けました。特に子供の貧困については早く対策を立てるべきだと感じました。

経済の動向と現状の大学の課題までを結びつけて考えられた事が良かったと思います。子供の貧困と教育問題についてはとても興味深かった。北欧等の女性達が自立していく中で、子供を安心して教育していける環境が出来ていると思います。日本ではその部分をもう少し考えないと変わっていかないのではないのでしょうか？とても楽しく聞く事ができました。ありがとうございました。

様々な本などでよくお名前を拝見しておりましたので、直接お話をお伺いできるチャンスを得られて感激しております。マクロな視野での男女共同参画もそうですが、自分の生活にひきつけて、具体的なアクションをとっていく必要がある(机上論だけではなく)と感じました。本日は、大変貴重なお話を有り難うございました。

東京大学での男女共同参画への取り組みの徹底は、埼玉大学だけでなく、より多くの大学に知ってもらいたいと思いました。女性が社会に進出する前にあきらめてしまうという現状を変えていくことが大事だと気づかされました。とても興味深いお話でした。

研究職における女性就業の少なさにとても驚いた。また、大学に保育園を設置することで、教員だけでなく学生にとっても喜ばしいことだと思った。

今回の講演は男女共同参画について知る上で大変有益だった。今まで、この話に関してピンポイントで学ぶことはなかった為、大変興味深かった。参考資料の上ででてきた日本社会の中での女性達の活躍の低さに非常に驚いた、これからの社会でどのように変化していくのか注目していきたい。本日は貴重なお話をありがとうございました。

男女共同参画社会を目指す法ができてきていますが、実際にどこまでその制度が浸透してきているのか現状が見えてこないと感じました。

諸外国と比べたときの日本の女性進出の低さに改めて驚いた。また、東大での男女参画への取り組みが積極的に行われている部分となかなか進まない部分があるところに驚いた。埼大でも年配の男性の先生が多いので東大と同じように難しい部分も多いと思うが積極的に取り組んで欲しいと思った。

とても興味深く面白かったです。国がこんなにも女性に対して積極的に活動していることを知らず、知らないことが多くて勉強になりました。私の母がそうなので、将来は働きながら子育てをしたいと思っています。

このような講演に初めて参加しました。"男女共同参画"やその他の制度についての知識が少ないせいか、正直なところよくは解らなかつたです。女性が社会にでる上で、今のままでは出にくいという事が解りましたが…。男女雇用機会均等法など、この制度を作ったのは男性ばかりなのかな？と思うところがあります。(議員数も女性は少ないです)なので、そのような制度を女性の目で見直して欲しいとも思いました。制度があっても、なかなか上手く使えなさそうだなとも感じました。

雇用における男女共同参画については、講義や調査である程度の知識はあったが、その以前に教育についても女性のことを考えなければいけない事が分かった。"Ability to learn"は初耳。

私は現代社会の女性の高学歴化、社会進出を素晴らしいと思う反面、そのことが原因となって少子化の進行が止まらないことも懸念しています。育児が仕事との二者択一ではなく、育児も仕事も両立していける社会が男女共同参画を実現する上でも重要となると感じました。貴重なお話をありがとうございました。

## 大学院生男性

数字が全てではないが、グラフ等はやはり分かりやすく状況が見えやすかった。

貴重なお話が聞けて大変ためになりました。日本が古来から持っている女性は家の中にあるものである考え方はなかなか払拭し難く、世界の中でも男女共同参画は非常に遅れているのだと再認識しました。日本国民の意識(特にトップの方)や経済構造が変化するにはまだまだ時間はかかると思いますが、一歩ずつ進んでいくことが重要であると思います。

終了間際に出席したため、全ての講義を聞くことができず残念でした。

## 大学院生女性

素晴らしいお話が聞けました。

埼大の保育(園)事情について知る機会となり良かったと思います。一つだけでは需要に応えられないことと思いますので、今後さらに増えることを願っています。

日本における男女共同参画の歴史がわかり、たいへん勉強になりました。

## 外部女性

今後の男女共同参画について考えるうえで示唆に富んだお話でした。大学と地域の連携についても生涯学習をキーワードにさらにつながりを見つけてみたいと思います。ありがとうございました。

大学での具体的な取組を経済全体の動向とあわせて聞くことができ、とてもよかったです。  
男女共同参画室の開設にふさわしい内容の深い講義であった。社会資源として、女性の活躍を  
社会化することの意味が数値データを基に示され、取り組むべきことの方向性が明らかになったと  
考えます。

男女共同参画室への要望、今後取り組むべきだと思ふ内容について、次の中からお選びください。  
(複数回答)

1. 男女の機会均等の実現
2. 男女共同参画の視点に立った、制度・慣行の見直し、意識改革の推進
3. 就労・就学と家庭生活との両立支援
4. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
5. 男女共同参画を推進する教育・研究の充実
6. 男女共同参画の視点からの学内の実態調査・分析及び情報の提供
7. 苦情申し立て、救済システムの整備
8. その他、要望がありましたらご自由にお書き下さい。

区分	機会均等	意識改革等	両立支援	女性の参画拡大	教育・研究推進	実態調査	救済システム整備	その他
教員男性	1名 (14.29%)	3名 (42.86%)	1名 (14.29%)	0名 (0.00%)	1名 (14.29%)	2名 (28.57%)	1名 (14.29%)	1名 (14.29%)
教員女性	2名 (28.57%)	6名 (85.71%)	4名 (57.14%)	2名 (28.57%)	4名 (57.14%)	2名 (28.57%)	3名 (42.86%)	0名 (0.00%)
職員男性	2名 (14.29%)	8名 (57.14%)	5名 (35.71%)	3名 (21.43%)	2名 (14.29%)	7名 (50.00%)	1名 (7.14%)	0名 (0.00%)
職員女性	4名 (26.67%)	10名 (66.67%)	9名 (60.00%)	2名 (13.33%)	3名 (20.00%)	2名 (13.33%)	1名 (6.67%)	2名 (13.33%)
学生男性	4名 (22.22%)	7名 (38.89%)	10名 (55.56%)	7名 (38.89%)	8名 (44.44%)	3名 (16.67%)	1名 (5.56%)	1名 (5.56%)
学生女性	5名 (33.33%)	6名 (40.00%)	9名 (60.00%)	5名 (33.33%)	5名 (33.33%)	4名 (26.67%)	2名 (13.33%)	0名 (0.00%)
大学院生男性	2名 (50.00%)	3名 (75.00%)	2名 (50.00%)	1名 (25.00%)	2名 (50.00%)	2名 (50.00%)	1名 (25.00%)	0名 (0.00%)
大学院生女性	0名 (0.00%)	2名 (66.67%)	1名 (33.33%)	1名 (33.33%)	2名 (66.67%)	0名 (0.00%)	0名 (0.00%)	0名 (0.00%)
外部女性	0名 (0.00%)	2名 (66.67%)	1名 (33.33%)	2名 (66.67%)	3名 (100.00%)	1名 (33.33%)	0名 (0.00%)	2名 (66.67%)
男性小計	9名 (20.93%)	21名 (48.84%)	18名 (41.86%)	11名 (25.58%)	13名 (30.23%)	14名 (32.56%)	4名 (9.30%)	2名 (4.65%)
女性小計	11名 (25.58%)	26名 (60.47%)	24名 (55.81%)	12名 (27.91%)	17名 (39.53%)	9名 (20.93%)	6名 (13.95%)	4名 (9.30%)
計	20名 (23.26%)	47名 (54.65%)	42名 (48.84%)	23名 (26.74%)	30名 (34.88%)	23名 (26.74%)	10名 (11.63%)	6名 (6.98%)

その他

**教員男性**

均等である限り、女性のみが優遇されてはならない。本当の意味で男女差をなくす意識改革が必要である。

**教員女性**

「男女共同参画」というと女性の問題という認識がまだまだ強いのですが、男性の働き方・生き方の見直しが必要だということ、男性にとっては自分の問題でもあるという認識をもっと共通のものとしていけるような取り組みを要望します。

**職員男性**

女性管理職の増加

**職員女性**

企画ありがとうございました。組織内の意志決定に主に関与している係長以上の方の中には当事者意識の薄い方が見られます。こういった企画への参加をそれらの方に対しては必須としても良いように個人的には思います。ワークショップ形式での討議も良いように思います。

資源として女性を活用する為には、非常勤職員の活用も真剣に考えて欲しいです。特に3年という期限を切って雇用されている中の優秀な人材をどう扱うのか？みずみず他企業に流出させている現状は、埼大としてももったいないことと考えています。女性研究者に絞ってしまわないで欲しいです。

**学生男性**

男性の就学・就学と家庭生活の両立を物理的に支援していただきたい。

**学生女性**

もう少しいろいろな企画に参加出来るように情報提供をお願いしたいと思います。保育所に関しては、24時間自由に使えるようにならないと、女性は会議等も難しいと思います。

5.について、経済学部で開講されているのもあるが、もう少し広い視野に立ったものを一つの講義として扱ってほしい。

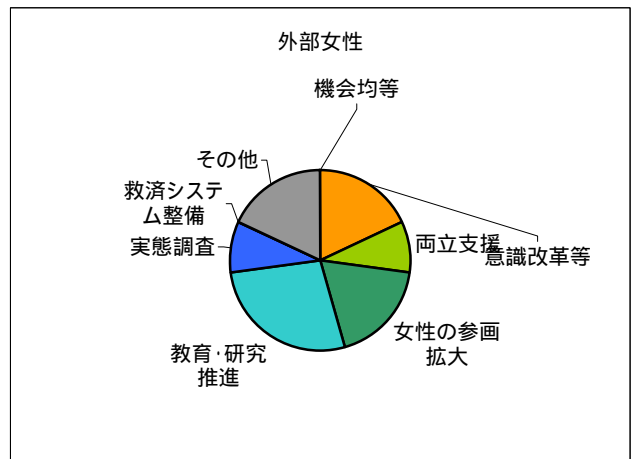
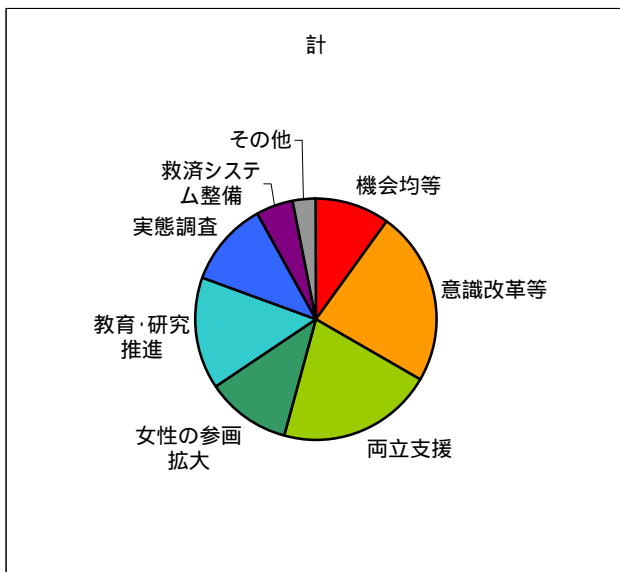
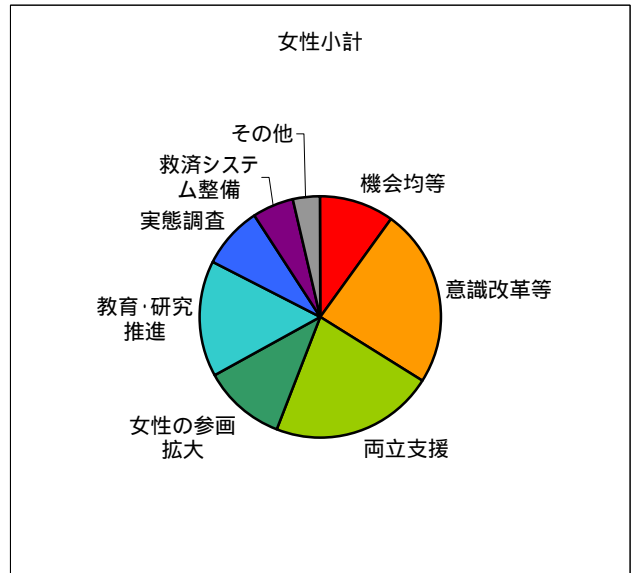
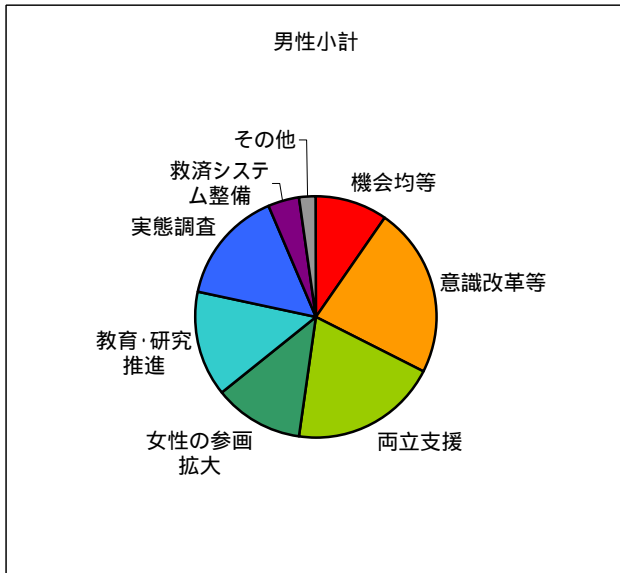
**大学院生男性**

男女共同参画は女性のためという形ばかりが目や耳につき肩身の狭い思いをする男性が多い。本来は男女ともに有益であるはずであるし、女性を支援するなら同内容の支援が必要なわけである。女性が不利なのは確かで改善の必要はあるが、しかし「平等」と言うからには男性にとってどうか、男性をどう支援するかの視点も「女性と同等」に重要。

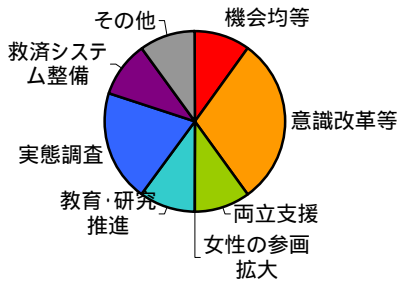
**外部女性**

地域との連携是非視野に入れて取り組んで欲しい。

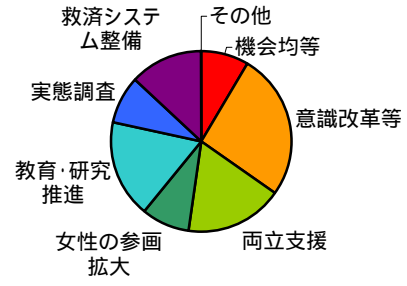
今後、センターとますます連携の機会を増やしていただければ幸いです。よろしく申し上げます。



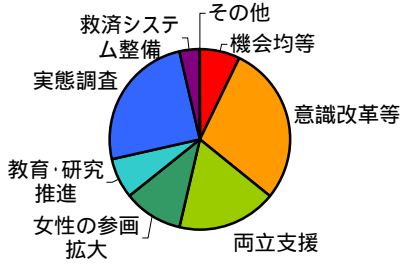
教員男性



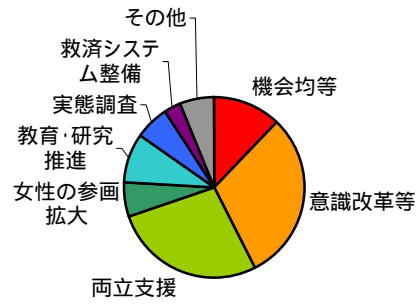
教員女性



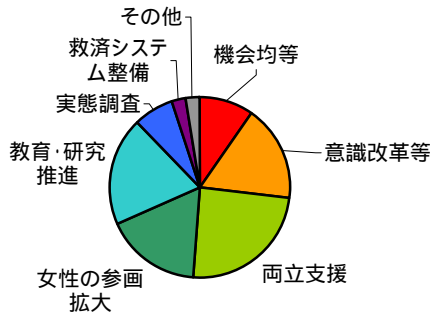
職員男性



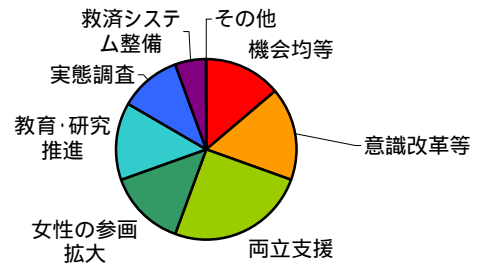
職員女性



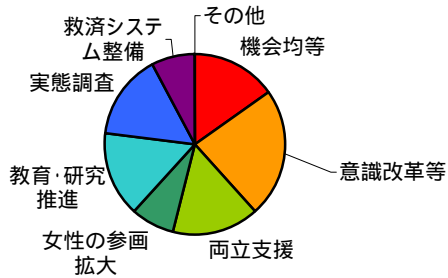
学生男性



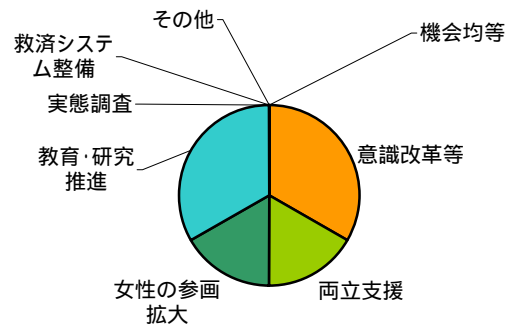
学生女性



大学院生男性



大学院生女性





## 埼玉大学男女共同参画室開室記念講演会 参加者アンケート

本講演会へのご参加、ありがとうございます。今後の企画・運営の参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をお願い致します。

所 属：当てはまるものにつけ、( )内に具体的な所属をお書きください。

1. 教 員 ( )
2. 職 員 ( )
3. 学 生 (                      学部                      学科 )
4. 大学院生 (                      研究科                      専攻 )
5. その他 ( )

性 別： 1. 男性    2. 女性    3. その他

本日の講演会については、何でお知りになりましたか。

1. ポスター            2. チラシ            3. H P            4. 同僚・友人からの情報
5. 教員からの宣伝    6. その他 (                      )

本日の講演会についての感想をお願いします。

男女共同参画室への要望、今後取り組むべきだと思う内容について、次の中からお選び下さい。

(複数回答)

1. 男女の機会均等の実現
2. 男女共同参画の視点に立った、制度・慣行の見直し、意識改革の推進
3. 就労・就学と家庭生活との両立支援
4. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
5. 男女共同参画を推進する教育・研究の充実
6. 男女共同参画の視点からの学内の実態調査・分析及び情報の提供
7. 苦情申し立て、救済システムの整備
8. その他、要望がありましたらご自由にお書き下さい。

ご協力、ありがとうございました！

( 提出をお忘れの際は、ファックスでも受付します。Fax:048-858-3678 )